



クローバーの「時×空」投資 TimeSpace



クローバー・アセットマネジメント株式会社 月次レポート 2020年2月28日基準

★コロナが導く

新しい世界

それにしても凄まじい新型コロナウイルスの旋風ですね。当初は世界の報道も感染源である中国、そして客船が話題になった日本が中心でしたが、その後各国に感染者が出現するに至り、急激に緊張度が上がっていったようです。株価も、2月最後の1週間、NYダウが12%、日経が10%と、金融危機の目安となる15%に接近する勢いでしたし、安全資産であるはずの金も2月中旬からの高騰の後、月末に暴落となりました。一説によると、他の金融資産の損失を埋めるため、高騰していた金を売って益出しをしたので暴落したそうです。

現実の生活の中でもマスクだけでなく、トイレトペーパーまで無くなり、3月には学校が突然休校になるなどパニック的な状況が続いています。良い点は、首都圏の朝晩の電車の混雑が随分と緩和されたことくらいでしょうか。それでも、日本の対応は諸外国と比べると対称が甘いと批判の対象になっていきます。確かに新型コロナウイルスの危険性がまだ十分解明されていない初期の段階では、もつと徹底した封鎖処置をとるべきでしたね。実際、感染の拡大の為に各国から入国を制限されてしまっているイタリア、イラン、韓国、日本等は、中国全土からの人の流入を制限する決断が出来なかった国々です。

幸いなことに、新型コロナウイルスは感染力は強そうですが、2月14日のWHOの発表によると、感染者のうち軽症は80%、重症14%、致死率は2%というところで、SARSや鳥インフルエンザほど「致命的ではない」ということのようにです。しかも、中国を除く致死率は0.2%とも言われており、一般的なインフルエンザの0.1%と同じ程度ですから、手洗い、マスクは当然としても、まずは健康な状態であることが一番の感染予防といえるでしょう。

中国の一地域に生息していた野生動物から感染したウイルスが短期間にこれほどの騒動を引き起こしたのは、ある意味、効率やスピードなど、経済的な要因を最優先してきたグローバリゼーションや、中国一極集中への弊害と言えるでしょう。また、危険度が低い割には、マスコミ、政府それに企業が過剰な反応を引き起こしたのも、金融資本主義が推し進めてきた過度のコンプライアンス重視の姿勢（誤解のないように言っておくと、本当に必要なコンプライアンスは評価しますが、現状では何でもとにかく責任回避しておこうという過度なものが目立ちます）が影響しているようにも思います。そういう目で見ると、今回の新型コロナウイルスも、最近特に熱を帯びている環境問題や、貧富の差の拡大と民族主義の台頭、それに起因する移民排斥運動など、全てが過去30年に及ぶ経済最優先で、金融が世界を支配するグローバリゼーションの負の遺産への反動といえ、今回の騒動はその流れを決定づける契機になっていくでしょう。

それでは次はどのような時代になるのでしょうか。というより、どのような時代を目指していけばいいのでしょうか。今までは、世界全体で共通の価値観を持つことを、ややもすれば押し付けることが多かったように思います。「グローバルスタンダード」という言葉も随分と流行しました。しかしこれからは、それぞれの国や、地域や、コミュニティ、それに個人の個性を尊重し、それぞれの違いを認めながら、全体の調和を創り上げることが必要でしょう。この点で期待しているのが多神教的な価値観です。以前もお話ししたかもしれませんが、やがてインドが台頭してくると、日本も含め、多神教的な価値観の経済圏が次第に影

響力を強めてくると思っっています。多神教の良いところは、人間自らも自然の一部と考え、全体的な調和を重んじること。さらに、異なる価値観を認め、全て受け入れるということだと思えます。

特に私たち日本人は、過去のグローバリゼーションの時代（1984年の冷戦終結からの約30年）を上手く活かすことが出来ずに失われた時代を送り、すっかり世界における存在感、影響力を喪失してしまいました。つまりまったく過去の時代の価値観に適応できなかった民族だと言えます。そんな永い眠りから目覚めつつある日本人だからこそ、時代の価値観が大きくパラダイムシフトする時代において、何か提言できるのではないかと。日本人が自然や人々と調和しながら生きて来た価値観の中に、これからの世界を導くヒントがあるように思えてなりません。

コロナのお陰でいろいろなイベントや会合がキャンセルになり、気が付けば意外と時間の余裕が生まれつつある今こそ、そんなこれからの時代のあるべき姿をじっくりとイメージしてみるのもいいかもしれませぬ。

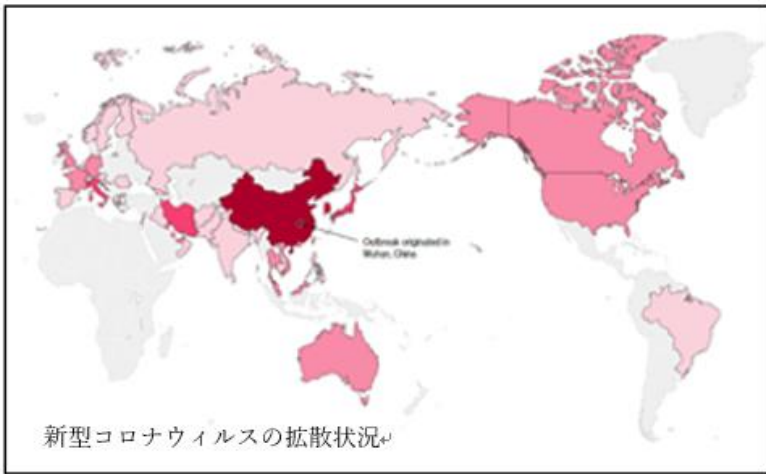
多根幹雄



クローバーの事務所前



新型コロナウイルスの世界規模での拡大を受け、最近になってイスラエルが韓国と日本からの入国管理を強化しました。先進国の一国であるイタリアでも発症が確認され、安倍首相は少なくとも1カ月間、全国の公立学校を休校することに決めました。これらはよく見聞きする報道ですし、こうしたニュースに対し市場は大変わかりやすい反応を示します。株式市場は下落し、最高格付けの債券利回りも低下しました。



Source :Bloomberg

言うまでもなく、こうした経済を取り巻く不確実性の影響はネガティブな形で出始めています。日本など一部の国では市場予想よりも弱い経済指標が発表されています。日本のGDPは前期比1.6%減と事前予想の同1%減を大幅に下回りました。一方で、1月は米国をはじめとする一部の国で依然堅調な成長が見られました。ただし、貿易などは一部の主要国で弱含み始めており、世界経済の見通しはからならずしも明るくありません。

こうした状況はフラット化し始めたイールドカーブからも明らかです。米国の政策金利目標値（上限値）などがいい例ですが、年限によっては逆イールドがすでに発生しています。おそらく市場が貸出金利の低下を見込み始めているのでしよう。一方、金や米国債などのいわゆる安全資産の値動きは激しく、金価格は急騰し、米国債金利は史上最低となりました。



Source:Bloomberg

金と、経済活動の代理変数としてよく使われる銅価格とを比較すると、チャートが示すように2009年や2016年と同レベルにまで低下し、すでに注意喚起レベルの弱さを示しています。しかし昨今の安全資産への逃避需要によって、金の正味非商業用ポジションは1995年以来的の高い水準となっています。投機的ポジションがかなりの程度積み上がっていることから、急激な巻き戻しの動きにも注意が必要で、こうした不確実性は世界規模で進行しており、これらの懸念要素は、特にPERベースでのバリュエーションが割高な市場での値動きを強めていると考えられます。

明るい材料としては、中国をはじめ他の中央銀行もすでにコメントしているように、金融当局がこうした新たな環境に見合った金融政策をとるとみられることです。一方で格付けの低い資金の借り手が、経済活動の低下によって影響を受け始めるであろうことは懸念されます。もちろんベストシナリオは、一日も早い医療面での解決が図られることでしょう。



Source:Bloomberg

★マーケットコメント



中国に端を発した新型コロナウイルスですが、1月30日に日本でも感染者が確認されました。日本を訪れていた中国人ツアー客を輸送したバス運転手の男性、およびガイドの女性です。また、2月初めには武漢からチャーター便で帰国した日本人の内、3人から新型コロナウイルスへの感染が確認されました。日本政府は、感染拡大を防ぐため湖北省（武漢市など）への直近の滞在歴がある外国人を入国拒否。また、香港から乗船した感染者を載せていた乗客3700人余のクルーズ船が横浜に寄港、乗客乗員を船内に留め置いて検疫する方針としました。ただ、それ以外の中国からの個人観光客を完全にブロックすることはせず、中旬以降日本国内で局地的に感染が広がってきました。また、クルーズ船への対応も結果として船内での感染者数を増加させることになり、検査を受け陰性であった日本人乗客は、順次下船、また、米国、欧州、アジア各国の乗客の多くは自国のチャーター機で帰国することになりました。しかし、日本から帰国した乗客が自国で感染が確認され、並行して、中国からの旅行者、自国民の帰国者などの行き来も重なり、中国以外では、韓国、イタリア、イラン、日本、シンガポール、フランスで感染者がすでに100名を超えています。

こうした状況の中、日本株式市場は、月初旬は1月のマイナスを取り返す勢いで上昇しましたが、日本国内の感染、クルーズ船での感染拡大に歯止めがかからない状況で大きく売り込まれ始めました。中旬以降、中国と事業の上で関連のある企業はもろろ国内の人の動きが鈍化する中で内需系企業にも株価下落が広がり始めました。

そんな中、米国では26日に初めて感染経路不明の感染者が発見され、さらにカリフォルニアで「中国から帰国の8400人を経過観察中」との発表があり、27日には新型肺炎の世界的流行懸念からNYダウが史上最大の値下がりととなりました。さらには韓国、イタリア、イ

ランなどで感染拡大フェーズに入ったことで投資家心理が悪化。中国（上海市場）、日経平均株価など軒並み下落し世界同時株安となりました。3月に入ってから、各国中央銀行が市場を支えるため利下げ等の措置をとる可能性が浮上して急激な下げにやっとな止めがかかった状態です。今のところ、新型コロナウイルスの感染拡大で、実体経済にも限定的に影響が出始めてはいるものの、何らかの金融、財政政策の下支えがあれば、一時的に大きく値を戻すことはあるかもしれません。しかし、結局は新型コロナウイルスの感染拡大にめどが立たない限り不安定な状況は続くと思います。

いずれにしても、こうした問題は一過性のものであり、やがて収束する段階で大きな戻りとなることは確実です。じつくりと投資先を選択し、タイミングを見極めて次の上昇に備えたいと思っています。

磯野昌彦

★ファンド仲間から

2019年9月。直販投信サポーターの後藤誠治さんから、飲み会で磯野昌彦専務をご紹介いただき、クローバーさんのことを知りました。すぐに、その席でプチセミナー。会社の成り立ちやファンドの紹介、運用をまかせるときの8つの基準などなど。ジョークを交えながらのお話を、楽しくうかがいました。特に印象に残ったのは、ファンドを選ぶときのこと。実際に運用している人に会いに行き、信頼できる人かどうかを見るところです。その人が運用が好きかどうか、自分のお金をファンドで運用しているかなど、なるほどと、納得できることばかりでした。また、後藤さんからは、多根幹雄社長のご著書『あいのり投資』を貸していただきました。読んでみて、あらためて信頼できる会社だと感じ、私も積み立てを始めることに決めました。

11月には、奥出雲ツアーに参加しました。美肌温泉、出雲大社、足立美術館など、盛り沢



奥出雲ツアー

山の内容でした。奥出雲多根自然博物館の宇田川和義館長をはじめ、スタッフのみなさんや街の方々の、心温まるおもてなしに感激しました。同じお部屋に宿泊したお二人には、クローバーさん主催の海外旅行でのお話や、これまでの投資体験談など、貴重なお話を聴かせていただきました。先輩方との交流は、ツアーならではのものです。

今年の1月には、名古屋で開催されたセミナーにも参加しました。実は、ツアーの際、後藤さんと一緒に多根社長に、名古屋セミナーをリクエストしたのでありますが、こんなに早く実現するとは。社長の誠実なお人柄を感じました。多根社長と磯野専務のセミナー後の交流会では、ピザなど、磯野専務の美味しい手料理が振る舞われ、参加者の皆さんとの交流を楽しみました。お誘いした友人たちにも喜んでもらえ、これが資産形成を始めるきっかけになったら嬉しいです。そして、これからも名古屋での定期的なセミナー開催を期待しています。

ツアーやセミナーを通して、クローバーさんが、人とのつながりを大切にされていることを感じています。私は現在、洋服のリフォームや靴、バッグをお直しするお店を経営しています。お直しを通じて人の役に立ちたい。そして地球資源にも配慮できたら、という思いで始めた仕事です。ものを大切に扱うことは、人を大切にしている行為と同じです。クローバーさんの理念にも通じるものがあり、嬉しく思います。

長期投資家として、ひよっここの私は、これからもまだまだ勉強が必要です。顔が見えるお付き合いだからこそ、安心して信じて託せます。目先の変動に一喜一憂することなく、楽しみながらマイペースで、「あいのり投資」を続けていきたいと思っています。

岸由美



名古屋セミナー

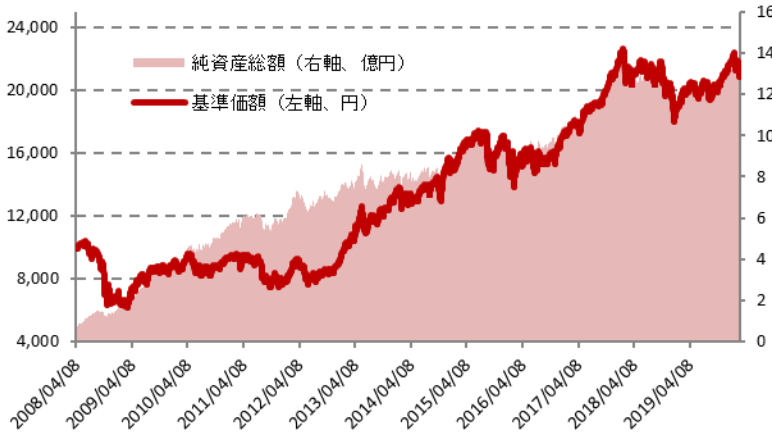
浪花おふくろファンド

じっくりどっしり長期運用

【2月の運用コメント】

中旬からの大幅な下落で、特に中小型日本株ファンドが大きな打撃を受けました。ただ、もともとキャッシュ比率を大きく高めており、同時期に実施したコムジェストグロースワールドからコムジェスト世界株式ファンド(円建て)への入れ替えにより、さらにキャッシュ比率が高まっていたこともあり、日経平均が-8.89%にも関わらず、基準価額は前月比-3.37%となりました。

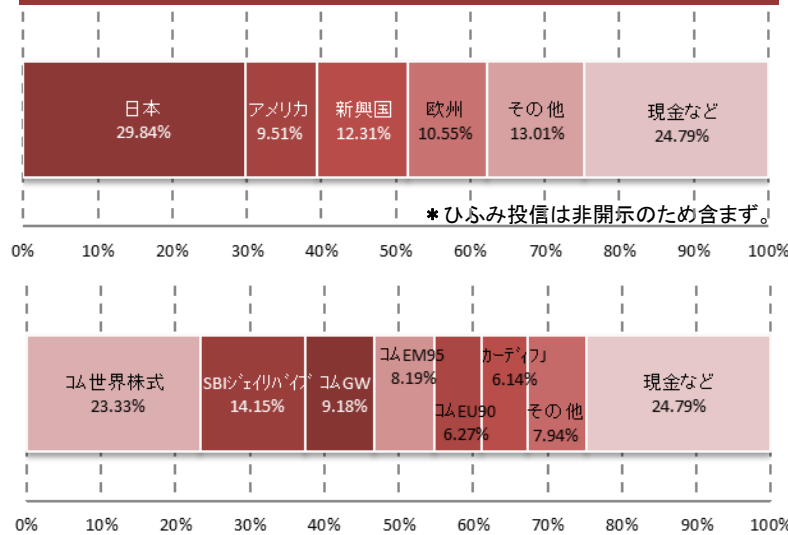
基準価額と純資産総額の推移



浪花おふくろファンド概況

基準価額	20,842円	信託期間	無期限
純資産総額	1,278百万円	決算日	毎年3月3日
設定日	2008年4月8日	(休業日の場合は翌営業日)	

資産構成比率(組入ファンド全8本)(上段:国別、下段:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
-3.37%	-2.08%	6.54%	4.35%	17.64%	108.42%
				(複利年率)	(複利年率)
				(5.56%)	(6.37%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬)	年率0.99%(税抜き0.9%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.65±0.27%(税込/概算)
------------------	--

コモファンド及び浪花おふくろファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。

設定・運用・販売はクローバー・アセットマネジメント株式会社/金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2727号
※比率は四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

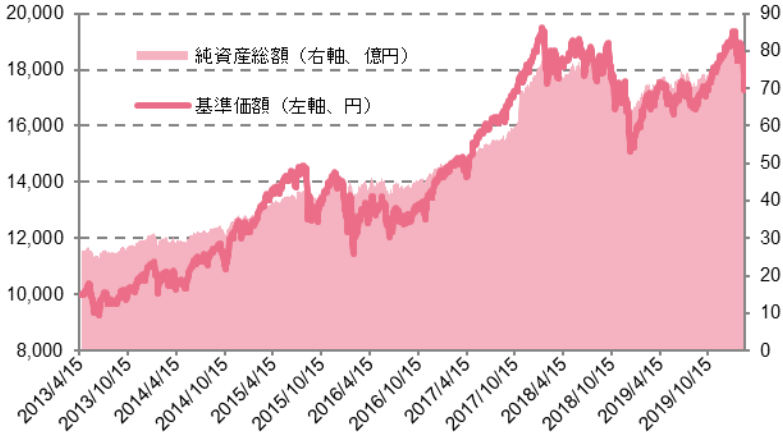
コモファンド

変幻自在ずーっとおまかせ

【2月の運用コメント】

中旬からの大幅な下落で、特に中小型日本株ファンドが大きな打撃を受けました。もともとキャッシュ比率を高めていましたが、同時期に実施したコムジェストグロースワールドからコムジェスト世界株式ファンド(円建て)への入れ替えにより、さらにキャッシュ比率が高まっていたことは幸いでしたが、基準価額は前月比-6.78%(日経平均-8.89%)となりました。期中では前半の下落の時にTOPIX ETFを追加購入しました。

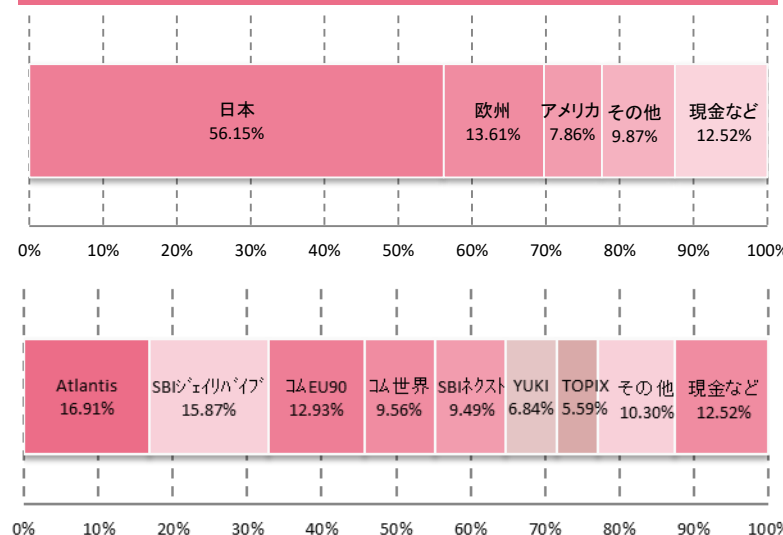
基準価額と純資産総額の推移



コモファンド概況

基準価額	17,278円	信託期間	無期限
純資産総額	7,296百万円	決算日	毎年2月25日
設定日	2013年4月15日	(休業日の場合は翌営業日)	

資産構成比率(組入ファンド全12本)(上段:国別、下段:ファンド別)



期間別騰落率(%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
-6.78%	-6.58%	4.17%	1.41%	18.59%	72.78%
				(複利年率)	(複利年率)
				(5.85%)	(8.28%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬)	年率1.10%(税抜き1.0%) 組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担 年率1.7±0.5%(税込/概算)
------------------	--

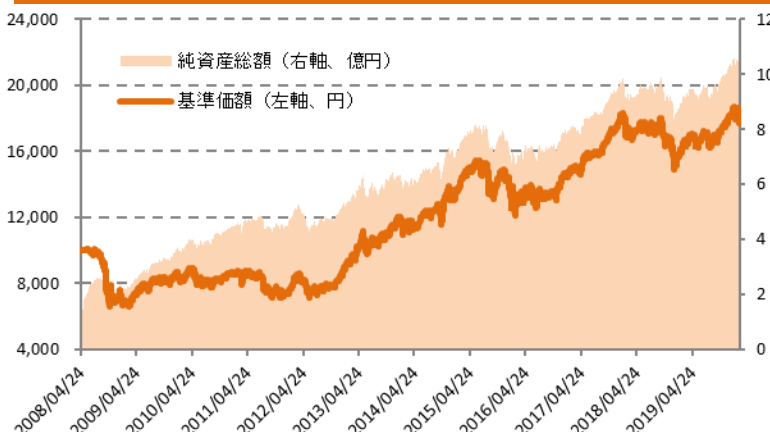
【2月の運用コメント】

中旬からの大幅な下落で、特に中小型日本株ファンドが大きな打撃を受けました。ただ、もともとキャッシュ比率を大きく高めており、同時期に実施したコムジェストグロースワールドからコムジェスト世界株式ファンド(円建て)への入れ替えにより、さらにキャッシュ比率が高まっていたことが幸いし、日経平均が-8.89%にも関わらず基準価額は、前月比-2.84%となりました。期中では前半の下落の時にTOPIX ETFを追加購入しました。

【2月の運用コメント】

中旬から、世界同時株安の状況でしたが、ダメージの大きかった中小型日本株ファンドを組み入れておらず、もともとキャッシュ比率を大きく高めており、コムジェストグロースワールドからコムジェスト世界株式ファンド(円建て)への入れ替えにより、さらにキャッシュ比率が高まっていたことが幸いし、NYダウが-9.77%にも関わらず、基準価額は前月比-2.30%となりました。期中では前半の下落の時にTOPIX ETFを追加購入しました。

基準価額と純資産総額の推移



基準価額と純資産総額の推移



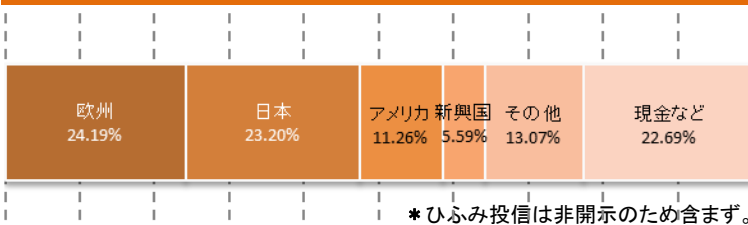
らくちんファンド概況

基準価額	17,692円	信託期間	無期限
純資産総額	1,016百万円	決算日	毎年2月25日
設定日	2008年4月24日	(休業日の場合は翌営業日)	

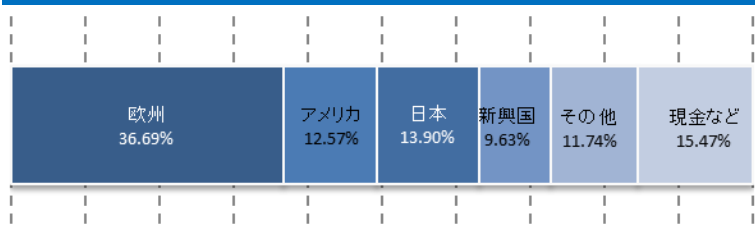
かいたくファンド概況

基準価額	22,098円	信託期間	無期限
純資産総額	773百万円	決算日	毎年2月25日
設定日	2008年4月22日	(休業日の場合は翌営業日)	

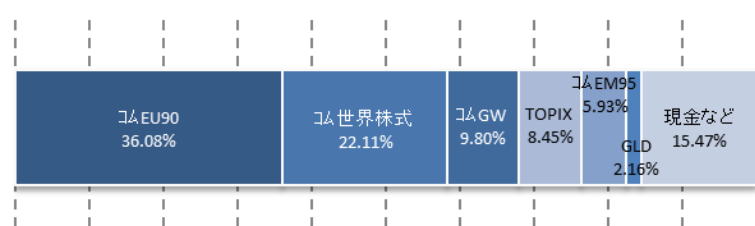
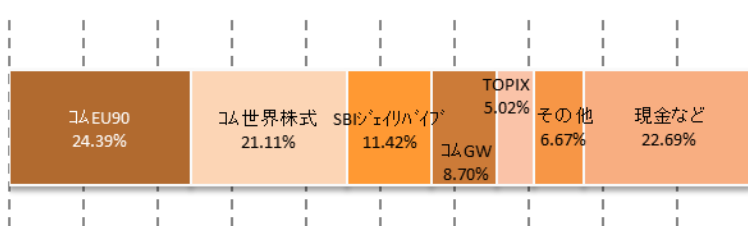
資産構成比率(組入ファンド全9本)(上段:国別、下段:ファンド別)



資産構成比率(組入ファンド全6本)(上段:国別、下段:ファンド別)



* ひふみ投信は非開示のため含まず。



期間別騰落率(%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
-2.84%	-0.44%	7.71%	7.02%	19.51%	76.92%
				(複利年率)	(複利年率)
				(6.12%)	(4.93%)

期間別騰落率(%)

1カ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
-2.30%	1.33%	9.33%	9.09%	27.31%	120.98%
				(複利年率)	(複利年率)
				(8.38%)	(6.91%)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬) 年率0.99%(税抜き0.90%)
組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担
年率1.55±0.27%(税込/概算)

ファンドにかかわる費用

運用管理費用 (信託報酬) 年率0.77%(税抜き0.70%)
組入れ投資信託証券も含めた実質的な負担
年率1.4±0.2%(税込/概算)

かいたくファンド及びらくちんファンドにかかわる共通のその他費用・手数料

信託財産に関する租税、投資対象とする投資信託証券の売買に発生する売買委託手数料及びその手数料に対する消費税相当額等の費用、外貨建資産の保管等に要する費用は、お客さまの負担として、信託財産中から実費を負担します。監査費用、信託事務の処理に要する諸費用等は、純資産総額の年0.11%(税抜0.10%)を上限として信託財産から支払うことができます。

クローバー・フェイスブックから

2020年2月7日・8日

★長期投資セミナー 京橋&アメリカ村

『アメリカ出張報告会』

多根社長、樋口さんのプレゼンテーションです。

社長からは主に、訪れた「CES2020」（大規模家電見本市）の情報。圧倒的な見本市の規模の大きさ、また日本でも紹介されてきましたSONYの電気自動車なども日本のマスコミが大挙して取材しているだけという、大きな情報ギャップを感じましたね。人の外見情報（動き、声まで）から、本人そっくりのアバターを作り、動画にしてしまう最新技術など興味深かったですね。そこを紹介してくれたイラン系人脈などクローバーの人脈の広がりを感じしていただきました。イラン人の大半がカリフォルニア在住で、さらにビバリーヒルズの人口60%が成功者のイラン人ということは、TVのニュースからは思いもよらないことです。

樋口さんからは、現地で訪問した3ファンドの説明。仮想通貨とその周辺事業に投資するもの、いずれにしても今後伸びていくアジアに投資するもの、運用資産の一定部分を突発的な大きい下げ（ブラックスワン）が出現したときに保険のように働いて資金ができ、それで安くなった株を買うことによりリカバリーを早くするものなど、今後の研究に値するヒントが多くありました。



大阪でも報告内容は同じですが、樋口さんには不参加なので私（磯野）が、代役を務めました。仮想通貨関連で量子コンピュータに関する質問がなかったので、少しホッとしました。こちらでも、最先端のCESの話は興味深く聞いていただきました。また、あれほど大モメになっている米・イラン関係ですが、実はアメリカ社会の中で認められ、むしろ成功者の一角を担っているのは、アメリカ社会の懐の深さを物語っていると、話題になっていました。

★2月のBDケーキ★

☆FOUNDRYのあまおうショートケーキ
福岡県産あまおうと阿寒酪農家のアニバーサリーケーキでした♡

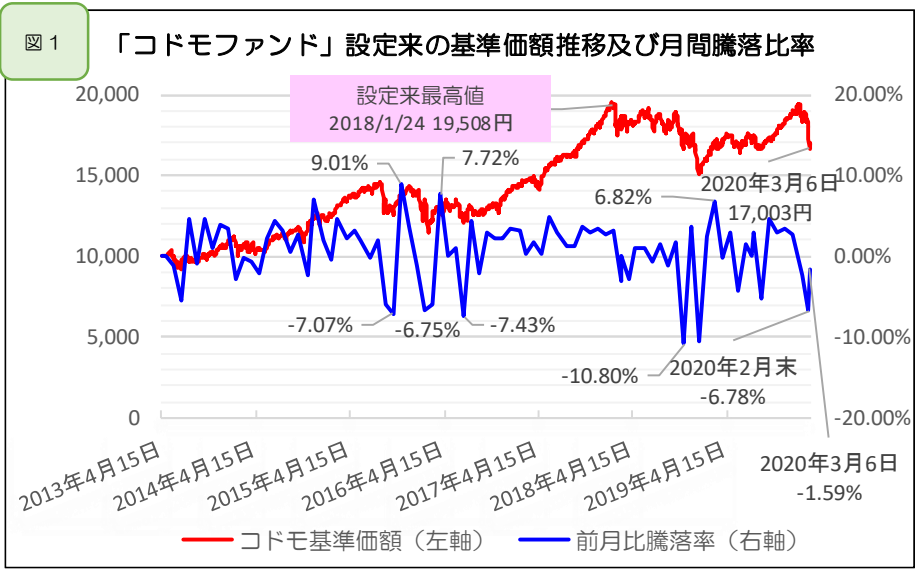


田子さん&渡辺さん
おめでとう！！

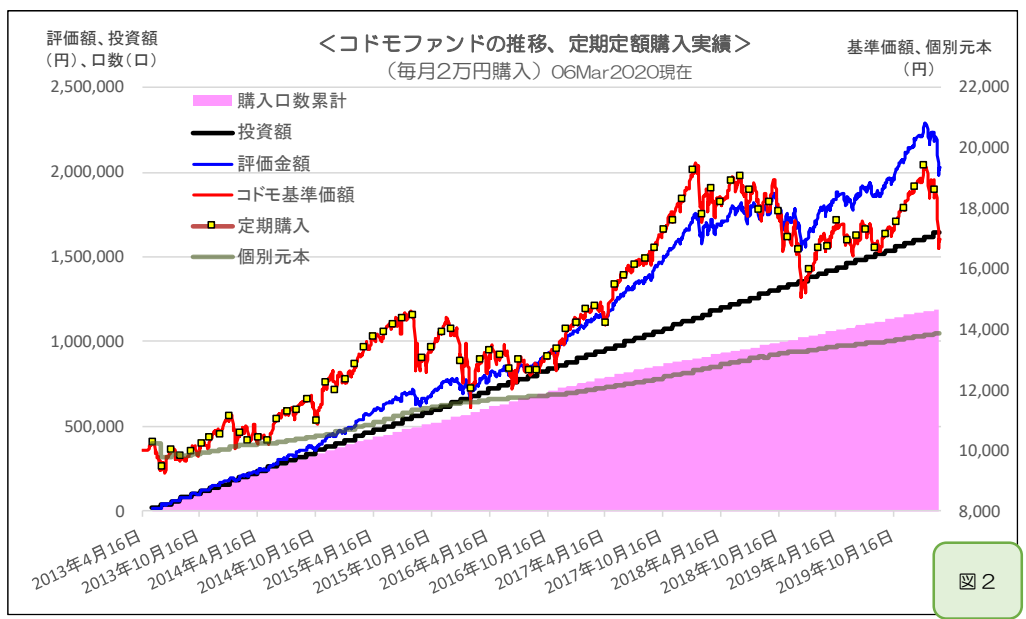
★時間の経過だけが知っている

長期投資の世界

昨年、「老後2000万円不足問題」が政治問題化しました。マスコミでも大きく取り上げられたことで、個人家計でも資産運用の必要性を再認識され、最近では初心者向けセミナー（将来のためのはじめの一步）へのご参加、或いは個別セミナーや個別相談のご依頼が増えました。今回は資産形成を考える上で重要な「長期投資」に関連して少しだけご紹介しましょう。



長期と聞くと「何年？私には残された時間が少ない！？」とお元気に力強くご質問をいただくことがあります。図1をご覧ください。当チャートは弊社の旗艦ファンド「コドモファンド」の設定（2013年4月）から2020年3月5日までの基準価額（赤線）の推移と月間騰落率（青線）です。運用期間が約7年という若いファンドですが価額の変動を繰り返して、現時点で年率複利は8.00%で推移しています。また、図2につきましては、定期定額購入の実績です。（実際の購入を黄色でプロットしています。）一定の金額で、かつ時間を分散して購入する「ドル・コスト平均法」を多くの方にご利用いただいています。これらのチャートをご覧ください。ただと、特に騰落率（図1：青線）は「山高ければ谷深し」、下落時など辛く厳しい時期もありますが、それを乗り越え投資を続けることで資産形成へと繋がって参ります。まさに、資産形成は時間の経過だけが知っている世界ではないでしょうか。今、新型コロナウイルスの感染拡大が世界中を震撼させています。過去、黒死病（ペスト）やスペイン風邪（インフルエンザ）のパンデミックで多くの方々が亡くなったという事実がございます。ただ、時間の経過と共に今回の新型コロナウイルスも黒死病やスペイン風邪と同様に必ず消滅します。世界大恐慌、ITバブル崩壊、リーマン・ショックや最近では米中貿易摩擦、そして今回のコロナショック、その度にマーケットは大きく下落しています。悲観と期待で大きく変動するマーケット



に資産形成を託す私たち長期投資家が取る行動は：どの様な状況でも焦らず慌てず、一喜一憂することなく、グローバル経済の大きなうねりを捉えた投資を丁寧に継続すること、同時に、一日24時間を日常生活のために有効に使うこと、その連続が「長期って何年？」のお答えになるかも知れません。

業務管理部★田子慶紀

図2



『わが国中小型成長株投資の意義と魅力』

3月27日(金)
18:30~20:00

予定しておりました
京橋・アメリカ村のセミナーは
京橋オフィスからのライブ配信セミナーに
変更となりました。

定員20名 無料
(交流会は
ありません)

エンジェルジャパン・アセットマネジメント
内藤誠一 氏(執行役員
チーフインベストメントオフィサー)
永嶋 聡 氏(インベストメントマネジャー)



『世界的リーダーを見極める“ファイトクラブ”』

4月3日(金)
18:30~20:00

京橋オフィスからのライブ配信セミナー

定員20名 無料
(交流会は
ありません)

リチャード・ケイ 氏
(コムジェスト・アセットマネジメント
アナリスト兼ポートフォリオアドバイザー)



Webで口座開設はじめました! *弊社HPのトップ画面をご覧ください。



ファンドにかかわるリスク

当ファンドは、値動きのある国内外の株式等に投資する投資信託証券に投資しますので、基準価額はその影響を受け変動します。
投資信託は預貯金と異なり、投資元本が保証されているものではありません。投資による利益および損失は、すべて受益者(投資者)の皆様に帰属します。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、信用リスク、流動性リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等があります。リスクについての詳細は投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドにかかわる費用

当社が扱う投資信託に、購入・換金手数料および信託財産留保金はありませぬ。

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料はクローバー・アセットマネジメント株式会社が運用するファンドの運用状況をお知らせするために作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等をお渡しますので必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載された過去の実績は、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中に示された意見等は、作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当社でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。

クローバーから大切なお知らせ

【交付運用報告書発送のお知らせ】

かいたく・らくちん・コドモ各ファンドの決算を2020年2月25日、浪花おふくろファンドの決算を3月3日に行いました。
つきましては、4月下旬にファンドの運用状況等をご報告する「交付運用報告書」を対象のお客様に発送または電子交付いたします。

【ご登録内容の変更はございませんか?】

もうすぐ新年度がスタートします。お引越しなど新生活の準備で何かと忙しい方もいらっしゃるかと存じます。
ご転居等によりご住所、ご連絡先に変更はございませんか。お取引に関する重要な書類や大切なお知らせなどがお届けできなくなりますので、変更がございましたら、「登録事項変更届」の用紙を弊社ホームページ・マイページまたはお電話にてご請求の上、変更手続きをお願いいたします。
なお、メールアドレスのご変更は、弊社ホームページ・マイページ上またはお電話でもお手続きが可能です。

* 海外転勤等で日本非居住者となるお客様 *

海外転勤等で日本非居住者となる場合、**ご出国前までに所定の手続きが必要となります**ので、お早めにご連絡いただきますようお願いいたします。

【毎月つみたてスケジュール】

次回引落日は、**4月6日(月)**
4月分金額変更・中止・再開締切日...**3月24日(火)**
5月分新規・口座変更締切日...**4月1日(水)**
* 毎月つみたてサービスの金額変更・中止・再開については、お電話でも承っております。

クローバー・アセットマネジメント株式会社
(受付時間: 平日9時~17時)

お客様専用通話料無料ダイヤル: 0800-5000-968

E-mail: gyoumu@clover-am.co.jp